

2023 大会プレイバック

<マスターズ甲子園 2023・第20回記念大会> 2021-2023シリーズ第3幕

第20回記念大会では、各地方予選大会で代表権を得た、函館大有斗（北海道）、金足農（秋田）、前橋育英（群馬）、日大二（東京）、日大藤沢（神奈川県）、伊丹北（兵庫）、日高中津（和歌山）、鳥取育英（鳥取）、広陵（広島）、三本松（香川）、追手前（高知）、興南（沖縄）、の12チームに加え、福島県選抜、富山県選抜の計14チームが出場しました。また、大会2日目には、全国33都道府県リーグ630校が参加した全国高校野球OBトーナメントを勝ち抜き、大谷室蘭（北海道）、浦和学院（埼玉）、国府（愛知）、田辺（和歌山）、今治北（愛媛）、九産大九州（福岡）の東西代表6チームが出場しました。このうち、伊丹北OB（兵庫）は現役高校野球部も甲子園未出場であり、高校創設以来、悲願の甲子園初出場となりました。

出場20チームで計939人がベンチ登録、このうち高校時代での甲子園非出場者は798人でした。最年少は18歳、最高齢者は田辺OBで86歳の岩本英樹氏が出場しました。元プロ野球選手も参加し、函館大有斗高校OBからは、星野仙一大会名誉会長から「日本一の投手コーチ」と呼ばれた佐藤義則氏を含む4名がベンチ登録。

最年少は18歳の大谷室蘭OBの大家康生氏、今治北OBの本宮丈氏・富田陸政氏・藤田大地氏の4名でした。また、今回20歳である函館大有斗OBの3名（藤澤京介氏、中本憲太氏、金澤泰征氏）、金足農OBの2名（児玉大成氏、島崎大地氏）、富山県選抜の3名（野村浩太郎氏、平瀬駿介氏、磯野雅央氏）、大谷室蘭OBの秋山想氏、日大二OBの萩原太氏、三本松OBの和田海成氏、興南OBの糸数亜依香氏の計12名については、高校3年生の夏、コロナ禍により第102回全国高校野球選手権大会が中止となり、各都道府県の独自大会で引退した102回世代の選手でした。高校最後の夏に目指すことすら叶わなかった念願の甲子園の土を今大会で踏みました。

開会式で選手宣誓を行なったのは、OBトーナメントを勝ち上がり日本一決定戦に出場した東日本代表・浦和学院OBの光山高史氏と西日本代表・今治北OBの村田佳久氏の2名で、夢の舞台を目指す全国の元高校球児を代表し、甲子園球場で大役を担いました。

そして、大会2日目第5試合には、全国高校野球OBトーナメントを勝ち上がった、東日本代表・浦和学院OBと西日本代表・今治北OBによる2013年大会（第10回記念大会）以降2回目となるOB日本一決定戦を実施しました。試合は、得点力の高い今治北が初回に3点を先制しリードするも、2・3回に浦和学院打線が勢いに乗り逆転。終盤追い上げを図られるも、9対6で浦和学院が優勝し日本一の栄冠を手に入れました。

式典司会は高校野球選手権大会の初代学生司会者である山内佑利子氏が担当。また、かつて夏の高校野球選手権大会の開会式入場行進でプラカード係を務めた市立西宮高校OGが、開会式入場行進でのプラカード先導役を務めました。

その他、かつて甲子園に憧れた審判員、スタッフもそれぞれの想いの詰まった甲子園デビューが実現しました。



マスターズ甲子園 2023 試合結果

1日目 (11月11日)

第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
前橋育英 (群馬県代表)	1	4	0	0	0	1			6
函館大有斗 (北海道代表)	0	0	3	1	3	0x			7

第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
日大二 (東京都代表)	0	0	4	0	1	0	2		7
三本松 (香川県代表)	3	3	0	0	0	0	2x		8x

第3試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
日大藤沢 (神奈川県代表)	2	1	0	2	6	0	0		11
金足農業 (秋田県代表)	1	0	1	0	0	0			2

第4試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
広陵 (広島県代表)	0	0	0	1	3	1	0	0	5
福島県選抜 (福島県代表)	0	2	0	0	0	0	0		2

第5試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
鳥取育英 (鳥取県代表)	1	3	3	5	2				14
興南 (沖縄県代表)	0	0	0	1	0				1

2日目 (11月12日)

第1試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
富山県選抜 (富山県代表)	0	0	0	0	1	1	0	0x	2
伊丹北 (兵庫県代表)	0	2	0	0	0	0	0		2

第2試合

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
追手前 (高知県代表)	1	0	0	0	0	3	0x		4
日高中津 (和歌山県代表)	1	4	0	8	0	2			15

全国高校野球OBトーナメント

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
国府 (東3位・愛知県)	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
田辺 (西3位・和歌山県)	0	0	1	3	0	1	0	0	x	5

全国高校野球OBトーナメント

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
九産大九州 (西2位・福岡県)	0	0	0	0	2	3	0x		5
大谷室蘭 (東2位・北海道)	1	0	0	0	0	0			1

全国高校野球OBトーナメント日本一決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
今治北 (西1位・愛媛県)	3	0	0	2	0	1			6
浦和学院 (東1位・埼玉県)	0	5	4	0	0	0			9

X はインニングの途中で試合が終了したことを表す